

Mito UNESCO プラネタリー塾

2025年度 活動報告書



Photo by iStock



水戸ユネスコ協会
Mito UNESCO Association

目 次

「Mito UNESCO プラネタリー塾」の開催にあたって 水戸ユネスコ協会会長 中庭 陽子	1
水戸ユネスコ協会と公益社団法人日本ユネスコ協会連盟	2
受講生募集チラシ	3
第1回 開塾式、国際平和 ―世界のいま 平和ってどんなこと …講師：ダニー ネフセタイ 氏	4
第2回 環境学習会 ―サステイナブルファッションを通して考える …講師：舘山 佳央 氏 荒井 真次 氏	6
第3回 英語で国際交流 ―国内外の楽器の歴史 講話と演奏体験 …講師：パーコフィ エイキンス 氏 林 和男 氏 打越 美和子 氏 秋葉 桃子 氏	8
第4回 SDGs 活動 ―地球にやさしいファッションショー …講師：荒井 真次 氏	10
第5回 地域遺産保護 ―水戸一高校内の史跡ツアー …講師：御厩 祐司 氏 横須賀 満夫 氏	12
第6回 異文化理解 ―英語で茶道体験 …講師：林 和男 氏 舘山 佳夫 氏 宇佐見 恵子 氏 中庭 陽子 氏	14
ユネスコ憲章 前文 抜粋	16
地域遺産絵はがきのご案内	17

「Mito UNESCO プラネタリー塾」の開催にあたって

水戸ユネスコ協会会長 中庭 陽子

水戸ユネスコ協会は、民間の団体として日本ユネスコ協会連盟に所属して、「平和で持続可能な社会」の実現を目指して活動をし43年目になります。

皆様もご存じのとおり、ユネスコは80年前、第二次世界大戦のあと「二度と戦争を繰り返さない」という決意に基づいて設立された国際連合の教育科学文化機関です。ユネスコ憲章の前文には「戦争は人の心の中に生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあります。

しかし、世界は大きな困難に直面しています。ウクライナやパレスチナでは戦争が起こり多くの命が奪われています。弾圧によって言論の自由が奪われている地域や国があります。「力による平和」で国際社会を再構築するような動きも出てきています。自国ファーストが世界に「不寛容」を広げています。災害も多くなりました。気候変動により、気温上昇・洪水・干ばつ・山火事が世界各地で発生し、日々の生活が脅かされています。

「地球の限界」を表す「プラネタリー バウンダリー」という言葉から、私たちのセミナーを「プラネタリー塾」と名付けました。自然破壊・争いが絶えない人間の世の中で、地球の悲鳴が聞こえてくるようです。一般市民の私たちに何ができるのでしょうか。世界で起きていることを自分事として考え、できることを日常生活の中で実践することが、世界を変える大きな力になると思うのです。「Mito UNESCO プラネタリー塾」を通して、「多様な文化の理解」「人への尊厳」「世界の平和」の大切さを実感していただけたら幸いです。

プラネタリー塾では、水戸市教育委員会・水戸市国際交流協会から後援をいただき、学校や市民の方から協力を得ることができました。2年目となる今年度は、若い世代の方のより多くの参加を願い、水城高校と水戸一高で開催させていただきました。また、文化デザイナー学院のご協力のもと学生さんにも参加していただきました。これまでにない多くの10代の方、そして市民の方の参加があり、課題意識を共有できましたことを大変うれしく思っております。関係機関の皆様にお礼を申し上げます。

今後ともご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

『平和』のために私たちが
日々の生活の中で出来ることは
あるのでしょうか？



あなたにとって「平和」とは？



水戸ユネスコ協会と公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

- ・ 1947年7月19日 UNESCO 憲章に感銘を受けた草の根の人たちにより、ユネスコ協力会(当時)が民間ユネスコ団体として仙台で立ち上げられた。
- ・ 官民一体となった UNESCO 加盟運動を展開し、1951年60番目の加盟国となる。
- ・ 1956年：国連の加盟国となる。
- ・ 1981年：水戸ユネスコ協会創立。
- ・ 1982年：公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟の構成団体加入が承認される。

わたしの平和宣言

私は人類の未来、特に子どもたちの未来に対して責任があると思うからこそ、日々の生活の中で、家族と共にいる時、職場で働いている時、次のことを誓います。

1. 「すべての生命を大切にします」

差別や偏見を持たないで、一人ひとりの生命と人権を尊重します。

2. 「どんな暴力も許しません」

積極的に非暴力を支持します。特に弱い立場にある幼児や青少年に向けられた身体への暴力、性的虐待、精神的苦痛などのあらゆる暴力を許しません。

3. 「思いやりの心を持ち、助け合います」

社会的差別、不正、政治的・経済的抑圧をなくすために、思いやり、助け合う心で、奉仕活動を行います。

4. 「相手の立場に立って考えます」

狂信に陥ったり、他人を中傷したり拒絶したりしないで、いつも話し合いを優先させ、人の話を理解しようと努めることによって、表現の自由と文化の多様性を守ります。

5. 「かけがえのない地球環境を守ります」

生態系のバランスを保ち、すべての生命を尊重するよう行動し、自分の行動に責任を持つ消費者としての態度を心がけます。

6. 「みんなで力をあわせます」

男女が共に力を合わせ、民主的なやり方でいろいろな新しいことに取り組み、自分の暮らす地域のことに関心を持ち、よりよい地域づくりのために、いま、ここで、できることから始めます。

水戸ユネスコ協会 主催

Mito UNESCOプラネタリー塾

受講生募集

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない(ユネスコ憲章 前文より)。国際秩序が危機に直面するいま、若い皆さんとともに平和で持続可能な世界について学び考えていきたいと思えます。中高生、大学生の参加を心よりお待ちしております！

Photo by iStock

- 第1回 8月23日(土) 国際平和 -世界のいま 平和ってどんなこと
(会場：水戸市国際交流センター) …元イスラエル空軍兵 ダニー ネフセタイさんによる平和講演
- 第2回 9月28日(日) 環境学習会 -サステイナブルファッション
(13:00-15:30) …ファッションを通して持続可能な社会について考えます
(会場：水戸市国際交流センター) …第4回のファッションショー参加者の事前学習を兼ねます
- 第3回 10月11日(土) 英語で国際交流 -国内外の楽器の歴史 講話と演奏体験
(会場：水城高校) …ガーナ楽器と筑前琵琶演奏・受講者参加の和洋楽器の即興合奏
- 第4回 11月8日(土) SDGs活動 -地球にやさしいファッションショー
(会場：水城高校) …リメイクやリサイクルなど地球にやさしいファッションを発信
…ユネスコ無形文化遺産と現代ファッションの融合について講演
- 第5回 11月24日(月) 地域遺産保護 -水戸一高校内の史跡ツアー
(会場：水戸一高 9:00-12:00) …生徒の解説を受けながら巡るツアーと御厩校長先生による講演
- 第6回 12月13日(土) 異文化理解 -日本文化を語れる日本人養成
(会場：水城高校) …岡倉天心「茶の本」から茶の精神を英語で紹介
…英語で茶道を体験



▲ 参加お申込み



▲ ウェブサイト

修了証
発行

参加費

学生無料 (一般 第1回・第6回のみ500円)

スケジュール

13:00~15:00 第5回 9:00~12:00

応募
締切

開催日の1週間前
第6回は2週間前

主催：水戸ユネスコ協会 <https://mtunesco.jp/>

問合せ：jimukyoku@mtunesco.jp

後援：水戸市教育委員会 水戸市国際交流協会

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「ユネスコ協会SDGs活動助成事業」

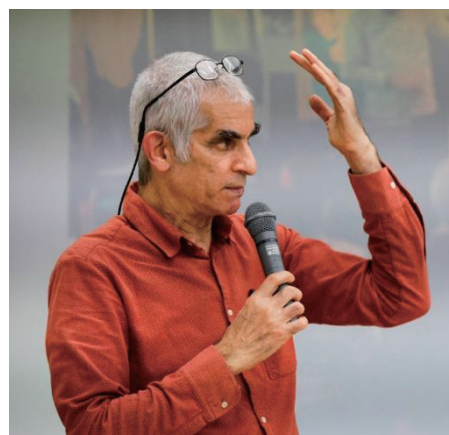
Mito UNESCO プラネタリー塾 第1回 案内

国際平和 ―世界のいま 平和ってどんなこと―

…講師：元イスラエル空軍兵 ダニー・ネフセタイ (Dany Nehushtai) 氏

<講師からのメッセージ>

私は1957年イスラエルに生まれ、イスラエルの教育を受け、徴兵制により軍隊に入隊しました。何の疑問もなく。リベラル家庭に育ったのですが、軍隊はむしろ必要不可欠だという国是は普遍なものです。1980年初頭日本に住み始め、憲法9条を知り、国防の意識の差に驚きました。数々のガザ攻撃がありましたが、徐々に頭と心がモヤモヤし始めて、2008年のガザ爆撃でパレスチナの子ども345人が殺されたことで遂に自分が所属していたイスラエル空軍の残虐性を許せなくなりました。国防のために隣人の子どもまで大量虐殺する事の罪はなんとしても許容できないのです。それ以来私は発信を続けています。イスラエル国内の家族や友人、SNSではこういった感覚は理解してもらえません。イスラエルの外から、外圧として「冷静になれ、それは虐殺だよ」と指摘し続けなければと思っています。



<講師プロフィール>

1957年 イスラエル生まれ

1975年 高校卒業後、徴兵制によるイスラエル軍入隊。空軍にて3年間兵役を務める。

1979年 退役後、アジアの旅に出る。10月来日。神奈川の家具会社に勤める。

現在 夫婦で注文家具、遊具、木工小物、社会性オブジェの創作活動。

著書 『イスラエル軍元兵士が語る非戦論』(集英社新書) ほか

日時：2025年8月23日(土) 13:00～15:00

*2025年度「民間ユネスコ運動の日」の行事として実施

会場：水戸市国際交流センター(水戸市備前町6-59)

参加費：一般 500円 / 中高生 無料

参加お申し込みは右のQRコードを読み取りGoogleフォームへ

<https://forms.gle/5obVj7BR3p3T3ziu6>



主催：水戸ユネスコ協会 (<https://mtunesco.jp/> メール jimukyoku@mtunesco.jp)

後援：水戸市教育委員会 水戸市国際交流協会

申請中 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「ユネスコ協会SDGs活動助成事業」

第1回 報告書

- 1 日時 2025年8月23日(土) 午後1時～3時30分
- 2 会場 水戸市国際交流センター 多目的ホール
- 3 参加人数 ≪46名≫ (小中高生 8 / 一般 20 / 会員 18)
- 4 内容

(1) 講演 「国際平和—世界のいま 平和ってどんなこと」

講師：ダニー・ネフセタイ氏 (元イスラエル空軍兵)

今回は「国際平和—世界のいま 平和ってどんなこと」をテーマに、元イスラエル空軍兵のダニー・ネフセタイ氏を講師として招き、国際情勢を踏まえながら平和を自分ごととして考える機会とした。講師は、対立が固定化していく背景には、相手を「敵」として分けてしまう差別や分断、命令への服従を前提とした構造、暴力の正当化、そして解決が武力に偏る危うさがあると述べ、軍事力は本質的に人を殺し物を破壊する機能に集約されるにもかかわらず、イメージによって「格好良さ」が先行しやすい点に注意を促した。また、残酷な暴力行為は決して容認できないとした上で、テロを含む暴力を武力で止めようとする発想には限界があり、憎しみの連鎖を断つには対話と外交によって犠牲を増やさない努力が不可欠であると問題提起した。さらに、「敵」という概念は本能ではなく教育や環境から生まれ、実際に出会い理解することで隣人として捉え直せることを自身の体験として語り、人権と尊厳に立ち返る重要性を強調した。当日は中学生を含む幅広い年代が参加し、国際情勢を単純な善悪で片付けず、対話を軸に平和を考える視点を得る有意義な学習機会となった。あきらめずに声をあげることこそ、自分たちにできる大切なことであることを学んだ。

(2) アンケートの主な内容

- ・ダニーさんの「平和とは何か」には考えさせることばかりです。機会があったら、また話を聞きたい。
- ・戦争、国防、地球温暖化及び無駄遣いの関係に具体例を挙げてとても分かり易かった。
- ・他国で起こっている戦争を人ごとのように感じていたが同じ人間同士が起こしていることを改めて考えさせられた。
- ・ユネスコ活動についても良くわかりました。
- ・考え方の違う人の主張は新しい視点のもとになる。今回のイベントに参加できて良かった。将来を考えるきっかけになることができた。
- ・平和、自然環境問題、教育の大切さ等参考になりました。
- ・全世界の人々の心の中に平和を守る意識を育て、戦争を止める原動力となる世の中を作っていきたいものです。

(3) 風景写真



Mito UNESCO プラネタリー塾 第2回 案内

環境学習会 —サステナブルファッション—

第1部 講演「サステナブルファッションについて」

講師 館山 佳央氏 (水戸ユネスコ協会、茨城県地球温暖化防止活動推進員)

第2部 講演「地球にやさしいファッションショーに向けて」

講師 荒井 真次氏 (学校法人リリー文化学園文化デザイナー学院 校長)

「サステナブルファッション」とは

衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取り組みのことです。

日本でも関心が高まりつつあるサステナブルファッションですが、ファッション業界は世界第2位の汚染産業と批判され、業界をあげて大きく変わろうと取り組んでいるところです。衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセス全体を理解し、解決策を考えることが大事です。

11月8日(日)に開催される第4回 SDGs 活動 ～地球にやさしいファッションショー～の事前研修も兼ねて実施します。

日 時：2025年9月28日(日) 13:00～15:30

会 場：水戸市国際交流センター (水戸市備前町6-59)

参加費：無料

参加申し込みは右のQRコードを読み取り Google フォームから、
または以下の URL から

<https://forms.gle/5obVj7BR3p3T3ziu6>



主催：水戸ユネスコ協会 (<https://mtunesco.jp/> メール jimukyoku@mtunesco.jp)

後援：水戸市教育委員会、水戸市国際交流協会

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「2025年度ユネスコ協会SDGs活動助成事業」

第2回 報告書

- 1 日時 2025年9月28日(日) 午後1時～3時30分
- 2 会場 水戸市国際交流センター 多目的ホール
- 3 参加人数 ≪25名≫ (中学生 3 / 一般 7 / 会員 15)
- 4 内容

(1)第1部 講演

演題「サステナブルファッションについて」

講師 館山 佳央氏 (水戸ユネスコ協会、茨城県地球温暖化防止活動推進員)

講師から、サステナブルファッションの意味や、世界的な動向、日本の動向について説明があった。世界では生産者責任が問われているのに比べ、日本では個人の消費行動に焦点が当てられている違いがあった。リサイクルにより価値を高めるアップサイクルな取り組みとして、ファッションショーを捉えなおし、事例の紹介もあった。

(2)第2部 講演

演題「地球にやさしいファッションショーに向けて」

講師 荒井 真次氏 (学校法人リリー文化学園文化デザイナー学院 校長)

講師から、文化デザイナー学院のこれまでの歴史の中で、どのようにサステナブルファッションに取り組んできたか説明があった。文化デザイナー学院では、地元の企業と連携しフェアトレードやリメイク品の販売などに取り組んでいる。学生たちが企業と連携して活動をすることで、教育面での効果も大きかった。ファッションショーで何かをやりたいという気持ちや、人を楽しませる気持ち、連携することや実現させる行動力などを学ぶことができた。

(3)アンケートの主な内容

- ・サステナブルファッションの基礎知識が分かった。
- ・衣料が環境汚染にかかわっていることが理解できた。衣料に対する意識改革になった。
- ・必要以上に買わないようにしたい。
- ・サステナブルファッションやリサイクルの種類など知らなかったのですが、意識してリサイクルの仕方を考えたり、先のことを考えて服を買おうと思いました。
- ・産学協働の取り組みを知ることで、生き生きとしたエネルギーな教育により、なぜ勉強するのかの答えが学院の教育にあった、教育の熱意を感じた。

(3)風景写真



Mito UNESCO プラネタリー塾 第3回 案内

「英語で国際音楽交流」

国内外の楽器の歴史 講話と演奏体験

国内外の楽器の歴史等について 英語で語り、演奏を聴いたり、体験することで音楽をとおして異文化理解を深め、国際交流を図ることを目的として開催します。

<講師紹介>

パーコフィー エイキンス (アフリカンドラム)

ガーナ出身。茨城大学教育学部附属小学校英語講師として勤務後、英語教室を主宰。県の「ワールドキャラバン」の講師としてガーナの文化やアフリカの歴史を紹介する活動を20年以上行っている。ガーナ音楽の演奏者としても知られ、音楽に込められた思いや背景を伝えている。



林 和男 (竹シロフォン)

県立高校校長退職後、水戸ユネスコ協会にて会長を務めた。

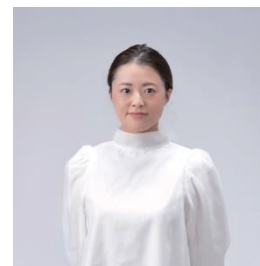
niki 工房代表 (木工・ワークショップ企画)、水戸の梅染めの明日を考える会代表。廃棄される梅の小枝や竹等を資源として再利用し、循環型社会の実現や里山の健全化を目指している。



打越 美和子 (筑前琵琶)

日本伝統文化吟友会全国大会優勝

平家物語などの古典のみならず、即興演奏を通じて筑前琵琶の魅力を伝え、日本伝統文化の種まきや未来を担う子供たちに、日本人の持つ感性に触れる機会を増やす活動をしている。2023年5月より 水戸市議会議員



秋葉 桃子 (ピアノ)

東京藝術大学大学院音楽研究科 (音楽教育) 修了

県立歴史館コンサート 2008年、2025年出演。日立シビックセンター

アトリウムコンサート 2010年、2016年、2017年出演。2024年より

デュオコンサートを開催。2022年10月より茨城大学教育学部音楽選修助教

日時：2025年10月11日 (土) 13:00~15:00

会場：水城高等学校 音楽室 (水戸市白梅 2-1-45)

参加費：無料 / 水城高校土曜講座の一環として開催

参加申し込みは右のQRコード、または以下のURLから

<https://forms.gle/5obVj7BR3p3T3ziu6>

主催：水戸ユネスコ協会 (<https://mtunesco.jp/> メール jimukyoku@mtunesco.jp)

後援：水戸市教育委員会、水戸市国際交流協会

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「2025年度ユネスコ協会SDGs活動助成事業」



第3回 報告書

- 1 日時 2025年10月11日(土) 午後1時～3時
- 2 会場 水城高等学校 音楽室
- 3 参加人数 《38名》(小中高生 12 / 一般 7 / 会員 19)
- 4 内容

(1) 4名の講師を迎え、国内外の楽器の歴史などについて英語で語り、演奏を聴き、体験することで音楽を通して異文化理解を深め、国際交流を図ることを目的として開催する。

・パーコフィ エイキンス (アフリカンドラム)

・林 和男 (竹シロフォン)

・打越 美和子 (筑前琵琶)

・秋葉 桃子 (ピアノ)

『ふるさと』を全員が好きな楽器で演奏し、合奏及び合唱をする。

(2) アンケートの主な内容

・ユネスコの活動を知るきっかけとなって世界の平和について考える機会となった。

・今まで音楽や楽器に触れることはあったが英語で説明するという体験はなかったので、新鮮で楽しかった。

・英語は苦手ですが丁寧に説明して頂いたので少しわかった。

・アフリカンドラムや竹シロフォンを実際に体験し面白さを知ることが出来た。

・ピアノの演奏が素晴らしかった。

・音楽を通して国境も思想も関係ない人間同士のかかわりが持てるところに意義があると感じた。

(3) 風景写真



※2025年10月21日 茨城新聞に「英語で解説、楽器演奏」という記事が掲載されました。

Mito UNESCO 第4回 プラネタリー塾

SDGs 活動 「地球にやさしいファッションショー」

目的 SDGs目標12「つくる責任 つかう責任」における、大量生産・大量廃棄が引き起こす環境問題を自分事として考える機会とします。リメイクやリサイクルで廃棄される服や小物に命を吹き込み、地球にやさしいファッションを提案しましょう。

日時 2025年11月8日(土) 13:00~15:00

会場 水城高校 講堂 (水城高校土曜講座として開講)

次第

- 12:30 受付
- 13:00 開会挨拶、ユネスコ活動報告
- 13:15 地球にやさしいファッションショー
- 14:35 講評 (文化デザイナー学院校長 荒井 真次 氏)
- 14:50 アンケート記入
- 15:00 記念撮影 閉会挨拶



地球にやさしいファッションショー



- 第1部 文化デザイナー学院学生によるファッション披露
- 第2部 水戸ユネスコ協会員・水城高校生・一般参加者によるファッション披露
- 第3部 韓国民族衣装紹介
- フィナーレ 全員

- 司会者が第2部・第3部の出場の皆さんのメッセージを英語と日本語で読み上げ、衣装に込められた思いをお届けします。



第4回 報告書

- 1 日時 2025年11月8日(土) 午後1時～午後3時
- 2 会場 水城高等学校 講堂
- 3 参加者数 《60名》(中学生 19 / 一般 21 / 会員 20)
- 4 内容

(1) 3部構成のファッションショーの1部では、映像による文化デザイナー学院の「セカンドフラワー（一度役目を終えた洋服を新しい形で花を咲かせる）」ファッションショーの様子や衣装制作の過程の紹介があり、その後、学生11名が自分でデザインしたりメイク・リサイクルの衣装を身に付け、会場の階段席の通路を降り、颯爽とステージに立った。第2部では水戸ユネスコ協会会員が着物をリメイクした衣装やガーナの民族衣装を紹介した。また、水城高校生5名が、祖母や母が来ていた服や中学校の制服などを活用したファッションを披露した。協力者のインドの方によるサリーの紹介があり、第3部では韓国民族衣装が紹介された。

講評では、文化デザイナー学院校長 荒井真次氏が出場者個別にその意図するところに説明を加えてくださり、「地球にやさしいファッション」に取り組んだ出場者の思いを会場全体で共有することができ、感動をともにしたファッションショーとなった。

最後に、着物をリメイクした衣装を貸してくださった画家の内山節子さん(88歳)の私「私が小学3年生の時このあたりはB29の爆撃で焼野原だった。平和だからこのようなファッションショーができることを幸せに思っている」という言葉に、改めて平和の大切さを噛みしめた。

(2) アンケートの主な内容

- ・ユネスコの活動を説明されて感動しました。
- ・多用な年代の人たちが思い思いの素材を着こなして素敵なファッションショーでした。
- ・いろいろな国の文化を学び互いに尊重していくことの大切さを感じた。
- ・若い力に素晴らしい柔軟性と発想力を感じた。
- ・地球環境に目を向ける良いきっかけとなった。
- ・いろいろな世代、各国のファッションが見られて良かった。

(3) 風景写真



Mito UNESCO プラネタリー塾 第5回 案内

「地域遺産を活かした特色ある教育活動」

水戸一高 御厩祐司 校長先生による講演

水戸一高附属中生徒による「水戸一の道」ガイドツアー(日本語・英語)

「日本百名城」の一つ水戸城の本丸跡に立つ水戸一高。県内随一の150年近い歴史を誇る校内には、未来に残すべき貴重な遺産が数多く存在します。学校内にあるために普段は見る事ができない史跡や建造物、自然等について、校長先生からお話を聴き、生徒さんの案内により見学することで、地域遺産への理解を深め、その保護・活用に向けた各地の取組を促進することを目的に開催します。

<講師紹介>

御厩 祐司 (みまや ゆうじ) 校長先生

香川県高松市出身。京都大学卒業後、1993年に文部省(当時)に入省。

学校教育、社会教育、文化、スポーツ、科学技術など幅広い分野を担当。

2022年に茨城県に公募採用され、水戸第一高等学校に赴任。2023年より校長。



<講師からのメッセージ>

私は「伝統文化を再発見し、活用する」との方針を掲げ、学校経営に当たっています。例えば、生徒には入学時に、本校開設前からの歴史や文化、自然等について詳しく講義を行い、誇りをもってこの地で学ぶ土台としています。今回はその内容を皆様に特別にお話しします。あわせて、附属中生が「水戸一の道」(一高内に残る史跡や建造物、自然等をめぐる見学ルート。水戸市が近隣に整備した「水戸学の道」のいわば支線)をグループにより英語または日本語で案内します。参加者には、生徒が作成した観光パンフレットとオリジナルの「御城印」を差し上げますので、ぜひご来校の上、貴重な地域遺産に親しんでいただけますと幸いです。



日 時：2025年11月24日(月・祝) 9:00~12:00

会 場：水戸第一高等学校 (水戸市三の丸3-10-1)

(学校公開日のため、**校内には駐車できません**)

参加費：無料

参加申し込みは右のQRコードまたは<https://forms.gle/5obVj7BR3p3T3ziu6>

問い合わせ先 メール jimukyoku@mtunesco.jp

主催：水戸ユネスコ協会

後援：水戸市教育委員会、水戸市国際交流協会

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「2025年度ユネスコ協会SDGs活動助成事業」



第5回 報告書

- 1 日時 2025年11月24日(月) 午前9時～12時
- 2 会場 水戸第一高等学校
- 3 参加人数 ≪89名≫ (小中高生 31 / 一般 42 / 会員 16)
- 4 内容

(1)第一部では中庭会長からユネスコ活動の紹介がありました。その後、水戸ユネスコ協会作成の地域遺産絵葉書セットの贈呈式が行われました。この絵葉書セットは建築家で水戸ユネスコ協会の横須賀副会長が描かれたもので、水戸一高新校舎や水戸市民会館の設計を手掛けています。その後、横須賀副会長から絵葉書セットで描かれている絵の説明がありました。薬医門とは門の建築様式の呼び名で、本柱とその後ろにある柱で支えられた屋根の棟の位置を中心からずらす形式で、側面から見ると非対称になっています。」との内容に驚きました。

第二部は御厩校長先生からの講話「地域の宝を守り、活かす」から始まりました。水戸一高の地理・歴史・自然・人物・未来について、パワーポイントで詳細に説明してくださいました。水戸一高がそれぞれの分野で豊かであることや生徒が環境保全学習や社会教育学習に取り組んでいる様子が頼もしく感じられました。その後、校内を案内する附属中学生が前に出て自己紹介を行いました。自分の得意分野を述べていたのが印象的でした。自分の学校に誇りを持って生き生きと活動する様子が目に浮かびました。校内には旧水戸中学や水戸一高で学んだ人の像や建物、例えば民間人パイロット第一号の武石浩玻像、野球殿堂入りしている飛田穂州像や石井連蔵像、妹島和世さんが設計した江山閣などがあり、参加者は生徒の説明に感銘を受けていました。御朱印「水戸ー」や「水戸ーの道」を頂き、水戸一高の活動や地域遺産保護活動の大切さを深めました。終了後には絵葉書セットを販売しました

記念写真撮影が終わっても解散せずに、参加者が案内してくれた生徒にいろいろと質問している様子があちらこちらで見受けられました。

(2)アンケートの主な内容

- ・普段は見られない非公開エリアを見られた。また自然保護の視点から教育施設を見られた。
- ・中学生が英語で一生懸命に説明してくれたこと素晴らしい！
- ・校内ツアーで貴重な場所をたくさん拝見でき、子供も大変勉強になりました。
- ・水戸の地理、歴史、自然の話がとても興味深く面白かった。
- ・横須賀先生の水戸の建築物のお話はとても面白かった。

(3)風景写真



Mito UNESCO プラネタリー塾 第6回 案内

異文化理解 「日本文化を英語で語れる日本人養成」 岡倉天心「茶の本」の紹介と英語で茶道体験

目的 グローバル時代において活躍できるよう、日本人として必要な教養を身に付け、外国人に英語で日本文化を披露できるようにする。

日程 13:00～13:10 開会・ユネスコ紹介（音楽室・全員）

グループ A

音楽室 13:15～13:30 「茶の本」の説明
13:30～13:50 茶の精神「和敬清寂」・作法の説明

茶室 14:00～14:45 茶道体験
(席入り、拝見、お茶・お菓子ののいただき方、退室)

グループ B

茶室 13:20～14:05 茶道体験
(席入り、拝見、お茶・お菓子ののいただき方、退室)

音楽室 14:15～14:30 「茶の本」の紹介
14:30～14:50 茶の精神「和敬清寂」・作法の説明

14:50～15:00 閉会・集合写真・アンケート（音楽室・全員）

日時：2025年12月13日（土） 13:00～15:00

会場：水城高等学校 音楽室・茶室（水戸市白梅 2-1-45）

参加費：500円 / 水城高校土曜講座の一環として開催

参加申し込み：右のQRコード、または以下の
URL から <https://forms.gle/5obVj7BR3p3T3ziu6>



主催：水戸ユネスコ協会

後援：水戸市教育委員会、水戸市国際交流協会

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟「2025年度ユネスコ協会SDGs活動助成事業」

第6回 報告書

- 1 日時 2025年12月23日(土) 午後1時～午後3時
- 2 会場 水城高等学校 茶室
- 3 参加人数 《32名》(小中高生 11 / 一般 6 / 会員 15)
- 4 内容

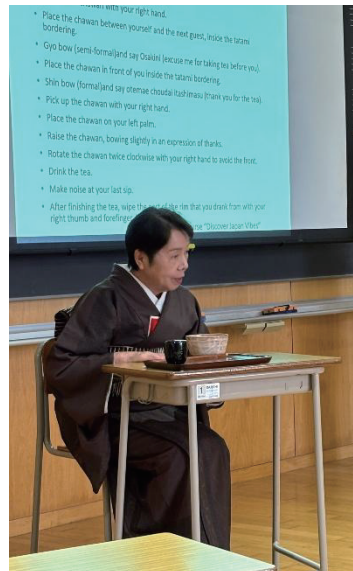
(1)本講では、英語で茶道体験を通して、日本文化の素晴らしさを体験することを目的とする。AグループとBグループの2グループに分かれ、交代制で実施。Aグループは、もみじの美しい路地を通り茶室玄関に入る。そこから英語の世界、少し日本語も入る。扇子で礼をし入室。床の拝見し、扇子、花の説明、菓子「木枯らし」の頂き方を聞き、お手前が始まる。茶せんの音、ひしゃくで水を入れる音がひびく中、お茶が振る舞われる。お茶の飲み方の英語での説明も快く「和敬清寂」だった。

Bグループは、教室で岡倉天心の「The Book of Tea(茶の本)」の紹介と、「How to drink Tea in Japanese Tea Ceremony」というテーマで英語で茶道文化の説明を行った。岡倉天心は茨城県とも所縁が深く、彼の著作は海外において日本文化を知る上で重要な価値を持つとされており、日本人にとっても理解が必要な著作である。英語による茶道文化に紹介では、茶道の初心者や初めて茶会を体験する人が必要な茶道の基礎知識を説明するとともに、お茶の飲み方について実演をしながら手順を追って説明を行った。その後、AグループとBグループは交替し、もう一方の講座を受講。2つの講座を受講することで理解を深めることができた。

(2) アンケートの主な内容

- ・ 日本文化を英語で説明することは大変興味深かった。外国人に日本文化を教えることがあるとしたら今回の説明は参考になりました。
- ・ 自分は茶道について良く知らなかったので岡倉天心の「茶の本」と合わせて茶道を知る良い機会となりました。
- ・ 日本の伝統文化を英語で学び伝えることによって国際的に日本文化の理解につながることを水戸ユネスコは目標の一つとして活動していることが良く分かりました。
- ・ 岡倉天心が「茶の本」を英文で出版していたことを初めて知りました。内容は難しそうですが見てみたいと思います。

(3) 風景写真



戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信をおこした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

政府の政治的及び経済的取極のみに基く平和は、世界の諸人民の、一致した、しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。よって平和は、失われないうためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない。

平和へのメッセージ



マザー・テレサさん

(1910年8月26日-1997年9月5日)

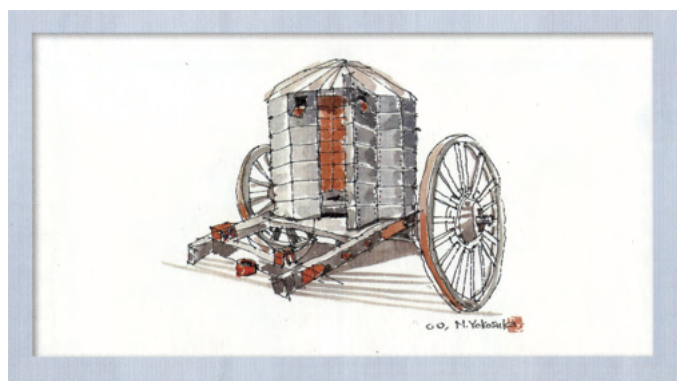
平和はほほえみから始まります。

一日五回、あなたが本当は笑顔を見せたくない人にほほえみかけなさい。

地域遺産絵はがき 未来へひきつぐ地域のたからもの。



水戸気象台〔水戸市金町〕



安神車〔水戸市宮町 東照宮〕



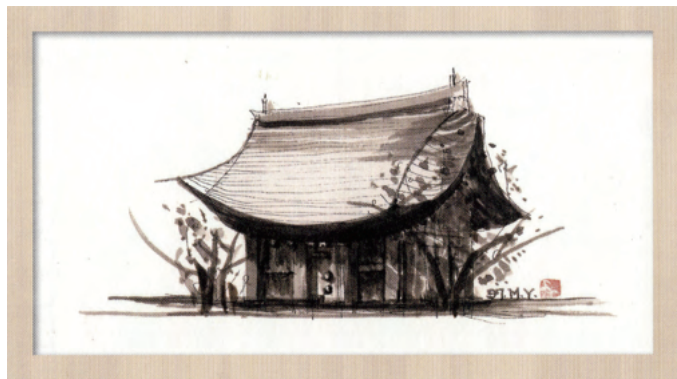
旧水海道小学校本館〔水戸市緑町 茨城県立歴史館〕



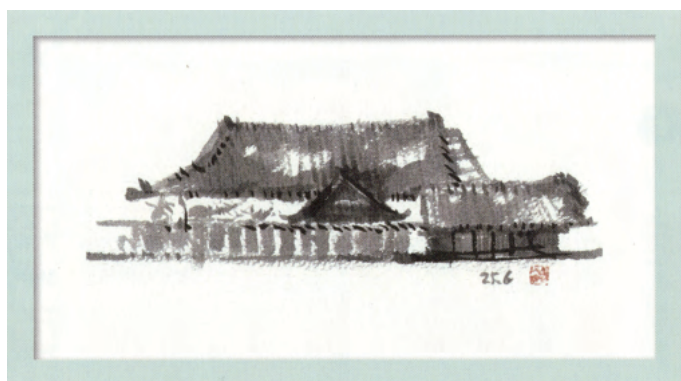
茨城県立水戸商業高等学校日本館玄関〔水戸市新荘〕



水戸市水道低区配水塔〔水戸市北見町〕



旧水戸城薬医門〔水戸市三の丸〕



一財) 水戸東武館 (道場・正門堀)〔水戸市北見町〕

イラスト 横須賀満夫

横須賀満夫建築設計事務所 会長、一級建築士、
APEC アーキテクト。水戸コネスコ協会副会長

販売価格 1セット 300円

収益金は(公社)日本ユネスコ協会連盟の「災害
子ども教育支援募金」に寄付させていただきます。



2026年は日本のユネスコ加盟75周年です

2026年2月発行



水戸ユネスコ協会
Mito UNESCO Association

<https://mtunesco.jp/>

メール: jimukyoku@mtunesco.jp